三方原馬鈴薯 共販70周年記念大会

▲表彰された功労者の皆さん

▶あいさつする酒井一 大会長

三方原馬鈴薯共販70周年を迎え、10月1日に浜松市中央区で記念大会を開きました。

生産者や関係機関の団結を強め、産地ブランドの維持・発展を目的としたもので、生産者と、静岡県や浜松市、湖西市の職員、市場関係者、JA静岡経済連役職員、JAとぴあ浜松役職員ら約120人が出席しました。

大会では、三方原馬鈴薯共販運営委員会委員長で大会長の酒井一さん、当組合の渥美保広会長、JA静岡経済連の山下昌徳常務があいさつし、産地の発展のために貢献した9人の功労者が表彰されました。その後、馬鈴薯部会青年部の磯貝将大部長と部員の菊池竜人さんが、高品質な馬鈴薯を生産していくための意気込みを熱く語り、会場は盛大な拍手に包まれました。

▲馬鈴薯部会青年部 磯貝将大 部長

▲馬鈴薯部会青年部　菊池竜人さん

▲大会冊子の表紙

三方原馬鈴薯は、大正初期に新開墾地の第一作に栽培されたのが起源です。昭和27年、当時の三方原農協が直接大阪市場へ出荷したところ、高評価を受けたことから、翌年の昭和28年には三方原、伊佐見、和地、吉野の農協で共同販売を実施。この時から三方原馬鈴薯共販が始まりました。10年後に、静岡経済連と管内各農協は三方原馬鈴薯共販運営委員会を設立し、共同販売、共同計算による販売の一元化を実現させて、組織の団結、産地銘柄の確立を進めてきました。

時代が変わり、平成20年には、空洞果・ライマン価センサーや、馬鈴薯では全国初となる差圧式除湿風乾庫を備えた施設を導入した「馬鈴薯選果場」が完成し、品質の統一を図りました。

三方原馬鈴薯は、時流に合わせてさまざまな変化を遂げてきました。これからも、高品質な馬鈴薯を提供する産地として進化を続けていきます。

JAの購買・販売事業ご利用者さま

JAとぴあ浜松 とぴあサービス

購買代金請求書・販売代金精算書のペーパーレス化および書面の有料化のお知らせ

静岡県のJAグループでは、ペーパーレス化への取り組みとして、**購買代金請求書および販売代金精算書の紙発行代を有料化**させていただくこととなりました。

紙での発行を停止する場合は、**無料でご利用いただけるWebサービス「JAポータル」にて電子請求書または電子精算書をご参照**いただきますようお願いいたします。

2025年2月1日以降の紙発行分より有料化

2024年10月14日〜　2025年1月31日　**2025年2月1日〜**

紙発行有料化

紙発行停止希望の受付（「JAポータル」画面より）

◆①購買代金請求書、②販売代金精算書、③㈱とぴあサービスお買上代金請求書の紙発行手数料‥各150円／月となります。
①②③すべてを発行すると合計450円/月となります。

紙発行停止方法

◆スマートフォンを使った「JAポータル」での紙発行設定方法は、右の二次元コードよりご確認いただけます。

◆代行入力で紙発行停止を希望する場合は、最寄りの営農センターへご相談ください。（以下参照）

先日10月2日発送のお買上代金請求書・精算書はがき裏面には「請求書および精算書の紙発行を廃止させていただきます。」とありますが、とぴあ浜松農業協同組合・株式会社とぴあサービスでは引き続き紙発行を行います。

お問い合わせ先

ご不明な点は最寄りの各センターまでご連絡ください。

東・中央営農センター	053-443-8022	湖北営農果樹センター	053-527-1711	芳川サービスステーション	053-425-9032
南営農センター	053-425-5931	花き営農センター	053-439-8100	志都呂サービスステーション	053-448-4729
西営農センター	053-485-2127	畜産営農センター	053-430-0911	庄内サービスステーション	053-487-1294
北営農センター	053-485-6211	農機センター	053-437-5885	都田サービスステーション	053-428-3120
浜北営農緑花木センター	053-586-1116	総合育苗センター	053-431-6510	細江サービスステーション	053-523-3608
湖西営農センター	053-578-2288			いなさサービスステーション	053-542-3255